

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：理工学研究科（博士課程）

1. 人材育成目的

理工学研究科は、持続可能で安全・安心な社会構築を目指して、専門分野の探求に必要な深い知識、幅広い教養、地域理解、国際性、リーダーシップ及び倫理観を身に付け、真理への飽くなき探求心で新たな知見の発見、価値の創造に努めるとともに、それぞれの分野が必要とする能力、経験を修得した人材を育成することを目的としています。

2. 入学者に求める資質

①知識・技能・理解

- ・ 真理の探究、新たな技術の開発や価値の創造などに取り組むために必要な各専門分野における基盤的な素養（知識、技能、経験）と論理的思考力を有する人

②思考力・判断力・表現力

- ・ 研究成果を学術論文、知財、製品などの形で国内外に発信し、それを通じて地域や世界に学術面や技術面で貢献したいと考えている人

③関心・意欲

- ・ 専門分野における課題探求とその解決に意欲を持ち、課題解決に向けて専門的素養をさらに高めることへの熱意を有し、研究を遂行するために必要な計画性、主体性を備え、実行力に優れた人

④主体性・協働性

- ・ 多様な人々と論理的に議論を交わし、結論を導き、協調的に行動するために必要なコミュニケーション能力を身につけることに意欲的な人

これらに加え、

- * 日本文化を理解し、国際的に活躍できる外国人留学生
- * 企業・自治体等の抱える課題を認識し、解決する意欲を有する社会人学生を求めます。

3. 入学前に修得しておくことを期待する内容

大学院において専門的な学術研究に従事していくため、各専門分野における基盤的な素養を修得していること。

4. 入学者選抜の基本方針

(1) 一般入試

筆記試験では、「知識・技能・理解」を評価し、面接（口頭試問を含む）では、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価し、プレゼンテーションでは、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

(2) 社会人入試

筆記試験では、「知識・技能・理解」を評価し、面接（口頭試問含む）及びプレゼンテーションでは、社会人としての経験や実績等を踏まえ、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

(3) 外国人留学生入試

筆記試験では、「知識・技能・理解」を評価し、面接（口頭試問含む）及びプレゼンテーションでは、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。

入学者選抜試験の検査方法と評価要素

検査方法等	知識・技能・ 理解	思考力・判断 力・表現力	関心・意欲	主体性・ 協働性	備考
筆記試験	○				
プレゼンテーション	○	○	○	○	
面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	

※ 専攻によって課す検査方法等が異なりますので、詳細については理工学研究科募集要項で確認してください。

5. 専攻のアドミッション・ポリシー

① 自然・応用科学専攻

自然・応用科学専攻では、化学分野、生命科学分野、数理・物理科学分野、材料科学分野の最先端の教育研究を展開し、多様な自然現象の本質を解明する力や革新的技術を創出する力を身に付け、エネルギー・環境・医療問題などの諸課題を解決し、地域・国際社会の発展に貢献する研究者および高度専門技術者の育成を目指し、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

(ア) 学術的思考力：自然現象の根本原理や基本法則を解明するための思考力を有し、自然科学における新しい知見や発見をもとに革新的なイノベーションを創出するための応用展開に興味を持ち、化学分野、生命科学分野、数理・物理科学分野、材料科学分野の最先端の研究活動に積極的に取り組める人

(イ) 研究遂行力：化学分野、生命科学分野、数理・物理科学分野、材料科学分野の科学技術の開発に必要な基礎知識を備え、高度な専門知識の修得や様々な方法論による問題解決に意欲的な人

(ウ) コミュニケーション力：異分野の科学技術者と専門的な討論を行い、論理的に問題点を分析するための様々なコミュニケーション能力を身につけることに意欲的な人

(エ) 研究成果発信力：研究成果を論文として国内外に発信し、研究や学会活動、教育活動などを通じて社会に貢献したいと考えている人

② システム創成工学専攻

システム創成工学専攻では、先端的科学技術を創出するために、電気電子通信工学、知能情報工学、機械工学、社会基盤・環境工学の各科学技術分野における専門性を深化させると同時に、横断的展開を図りながら、科学技術の境界・複合分野における諸問題を解決できる技術者・研究者を養成する。このような観点から、本専攻では、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- (ア) 学術的思考力：人と社会・産業をつなぐシステムの創成のため、先端的なものづくりに必要な幅広い専門知識に基づいて、研究活動に積極的に取り組める人
- (イ) 研究遂行力：システム創成工学分野において、科学技術の開発に必要となる基礎知識を備え、高度な専門知識の修得や様々な方法論による問題解決に意欲的な人
- (ウ) コミュニケーション力：異分野の科学技術者と専門的な討論を行い、論理的に問題点を分析するための様々なコミュニケーション能力を身につけることに意欲的な人
- (エ) 研究成果発信力：専門知識を応用しながら、主体的に研究課題に取り組み、研究成果を論文として国内外に発信し、研究や学会活動、教育活動などを通じて社会に貢献したいと考えている人

③ デザイン・メディア工学専攻

デザイン・メディア工学専攻では、安全で快適な空間やプロダクト、人に優しいデジタルコンテンツなどにより、心の豊かさを求める社会的ニーズをふまえ、＜プロダクトおよびコンテンツ＞のデザインに関わる「デザイン工学」とその基盤技術である、＜コンピュータグラフィックス、コンピュータビジョンおよびセンシング技術＞などの「メディア工学」、及びその融合分野に関わる教育研究を通じて、国際的な視野を持ちつつ地域への課題解決意識を持った、デザインやメディア技術を融合した先端的イノベーションを創出でき、融合的な諸問題を解決できる技術者・研究者を養成する。このような観点から、本専攻では、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- (ア) 学術的思考力：デザインやメディア技術を融合した先端的イノベーション創出のため、幅広い専門知識に基づいて自ら研究課題を立案し、研究活動に積極的に取り組める人
- (イ) 研究遂行力：デザイン工学またはメディア工学あるいはその融合分野において、研究・開発に必要となる基礎知識や技能に基づいて研究を遂行でき、高度な専門知識の修得や様々な方法論による課題解決に意欲的な人
- (ウ) コミュニケーション力：様々な分野の研究者等との専門的な討論やプレゼンテーション、また組織的な研究遂行に必要な様々なコミュニケーション能力を身につけることに意欲的な人
- (エ) 研究成果発信力：論理力、展開力、語学力を身に付け、研究成果を論文として国内外に発信し、研究や学会活動、共同研究、教育活動などを通じて社会に貢献したいと考えている人